

TOSHIBA

**2025年度
第3四半期決算**

2026年2月13日

株式会社 東芝

業績ハイライト

営業損益・当期純損益は上期に引き続き大幅増益 営業損益は3Qとして、過去最高益を達成

(単位：億円)	FY24 1-3Q	FY25 1-3Q	FY24/1-3Q実績との比較
売上高	24,770	25,220	+450
営業損益(引当金等前)	1,304	2,207	+903
ROS	5.3%	8.8%	+3.5%pt
引当金等 ※1	▲161	▲60	+101
営業損益	1,143	2,147	+1,004
ROS	4.6%	8.5%	+3.9%pt
営業外損益	1,388	4,088	+2,700
うち、キオクシア ※2 持分法損益	954	523	▲431
税引前損益	2,531	6,235	+3,704
当期純損益	1,848	4,992	+3,144
EBITDA ※3	1,925	2,919	+994
EBITDA margin	7.8%	11.6%	+3.8%pt
FCF ※4	▲113	5,185	+5,298
営業CF	306	1,346	+1,040
投資CF	▲419	3,839	+4,258
期中平均為替レート(米ドル)	152円	149円	▲3円

注：当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づいております。

※1：PJ案件コスト精査等 ※2：キオクシアホールディングス(株)の略 ※3：EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん減損

※4：フリー・キャッシュ・フローは、制限付預金・親会社への貸付の影響を除いています。

2025年度 3Q決算についてのコメント

営業損益は前年同期比 約2倍、当期純損益は同比 約3倍

主要事業の堅調、および継続的な収益力強化により、3QとしてROS過去最高の8.5%を実現

副社長執行役員の池谷 光司は2025年度3Q業績について以下のように述べました。

- 売上高は対前年同期で微増となり、**営業損益は同比 約2倍、当期純損益は同比約3倍となり、大幅増益を達成**しました。
営業損益は、第3四半期決算として過去最高益となりました。
- 営業損益は、**データセンター需要の拡大を背景とする送変電配電等のエネルギー事業やHDD事業、防衛等のインフラ事業が堅調に推移**しました。加えて、**エレベータ事業、デジタルソリューション事業等の増益基調が継続し、半導体製造装置事業も好調に推移**したことから、**全体として増益**となりました。リテール＆プリンティングは上期に引き続き米国関税影響が残ったものの、**売価施策・構造改革を継続し、影響の最小化**に取り組んでいます。
- 当期純損益は、**主要事業が堅調に推移したことに加え**、キオクシア株式の売却益等も寄与し、**同比約3倍の4,992億円と大幅増益**となりました。
- **本業の収益力強化や固定費の増加抑制等の施策が着実に奏功し、3QのROSは、当社過去最高となる8.5%を実現**しました。2026年度全社ROS10%の達成に向け、収益基盤の更なる強化と拡大に取り組んでまいります。

2025年度 3Q決算の補足説明

項目	概要
売上高	<ul style="list-style-type: none">リテール＆プリンティング等の減収があったものの、インフラやHDD、半導体製造装置等が好調に推移し、全体としては微増収 (対前年同期比 + 1.8%)
営業損益	<ul style="list-style-type: none">リテール＆プリンティングが米国関税影響によるコスト増および顧客投資の先送りが続き減益となったものの、エネルギー・インフラは堅調、HDDの製品保証引当金の減少と増収による増益、防衛、鉄道、エレベータ、半導体製造装置等の増益もあり、前年同期比で約2倍の大幅増益 (2024年度 1-3Q 1,143億円→2025年度 1-3Q 2,147億円)
当期純損益	<ul style="list-style-type: none">キオクシア株式の売却、一部事業の株式譲渡益等もあり、前年同期比で約3倍の大幅増益 (2024年度 1-3Q 1,848億円→2025年度 1-3Q 4,992億円)
FCF	<ul style="list-style-type: none">キオクシア株式売却益、一部事業の株式譲渡等による投資CFの改善、EBITDAおよび運転資金の改善等により前年同期比で大幅増 (+5,298億円)
受注高/受注残	<ul style="list-style-type: none">受注高は、エネルギーを中心に好調な受注状況を維持 受注残は、エネルギー・インフラの受注規模の増加に伴い前年同期比で増加。現行の開示を始めた2018年度以降、最高額を更新

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの9ヶ月累計です。

TOSHIBA